

# 施設における感染対策

## 新型コロナウイルス感染症

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

黒木利恵



# 本日の目標

利用者（入所者）の生活の質と  
職員の仕事と  
感染対策を  
両立する方法を考える

# コロナが5類になった時の感染対策とは？

わかったようでわからない

ウイルスは変わらないから今までと同じ対策？

対策を緩和したら感染しそう？

利用者も職員ももっと生活を楽しみたい！

でも感染したくない！



# 介護報酬の対策も…

- 感染対策強化

委員会の開催、指針の整備、研修の実施等に加え、  
訓練（シミュレーション）の実施

- 感染症・災害への備え

業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練  
（シミュレーション）の実施等

令和5年度までは経過措置期間  
令和6年度より実施



# まるっとまとめて

## 利用者の生活の質と

## 職員の仕事と

## 感染対策を

## 両立する方法を考える

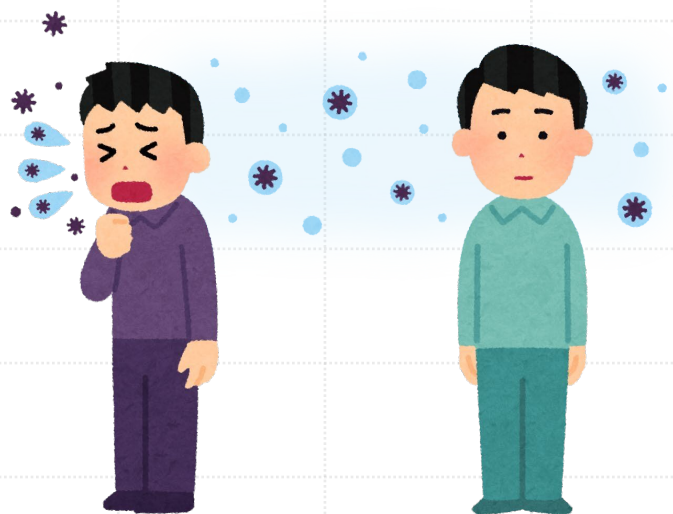
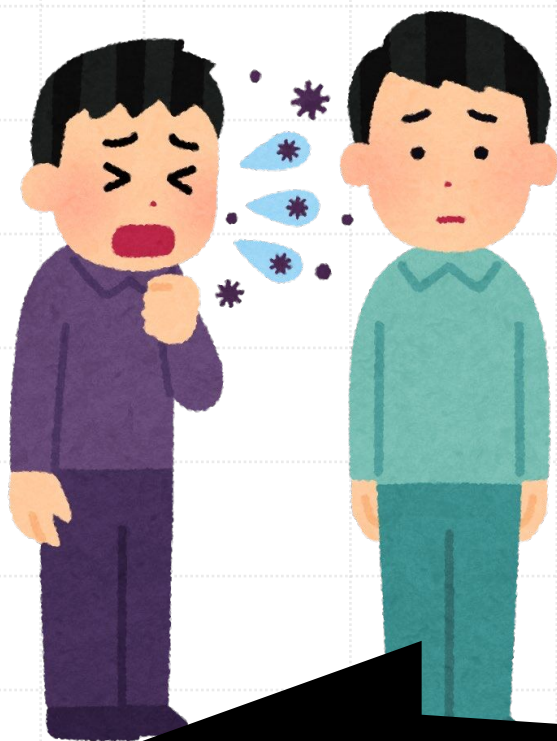
# 機会にしたい



# コロナの感染経路

換気の悪い場所で

■ エアロゾル感染



■ 接触感染

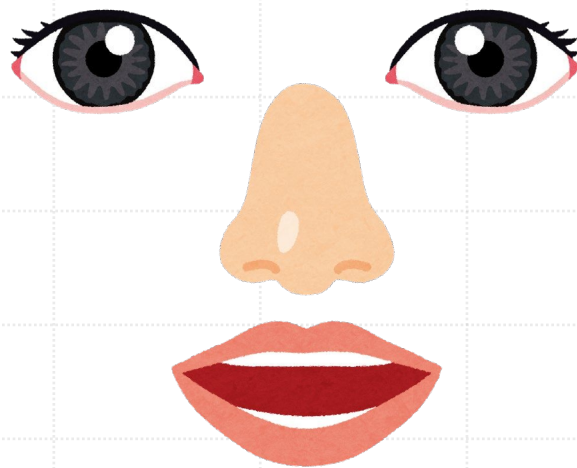


大 感染のしやすさ

小



# コロナウイルスの侵入部位



粘膜が露出しているところから  
ウイルスが侵入する

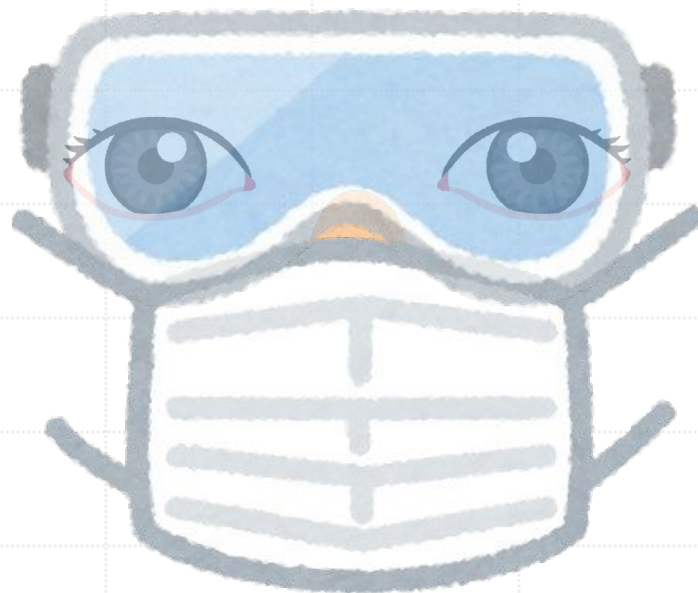
# コロナウイルスの侵入部位



粘膜が露出しているところから  
ウイルスが侵入する



# コロナウイルスの侵入部位



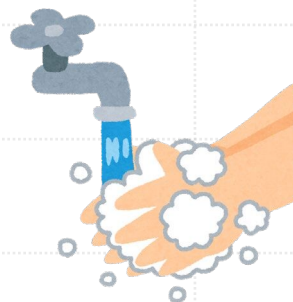
粘膜を覆えばウイルスは侵入できない



# コロナの感染対策

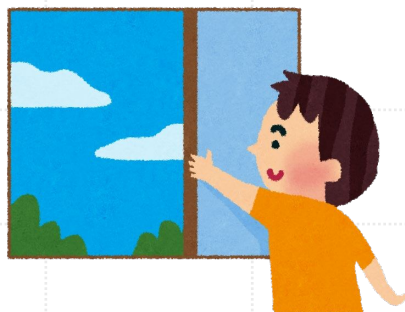


飛沫



手を洗う

接触



換気する

エアロゾル



これらの

# 感染経路と 感染対策

をもとに

利用者の生活の質と  
職員の仕事と  
感染対策を  
両立する方法を考える



# 本日の内容



備え



研修と訓練



対策の実践



協力

# 備え





# 委員会

感染対策委員会

感染症対策委員会

## 目的

- 施設の課題を集約し、感染対策の方針・計画を定め実践を推進する。
- 決定事項や具体的対策を施設全体に周知するための窓口となる。
- 施設における問題を把握し、問題意識を共有・解決する場となる。
- 感染症が発生した場合、指揮の役割を担う。

介護現場における感染対策の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001048000.pdf>





# 委員会

- 定期的な実施 3か月毎、6か月毎
- メンバー：理事長、施設長、各部門の長
- 臨時会議：集団感染発生時などに実施

## 開催通知書

- ・ 感染発生数
- ・ 感染発生時対応の報告
- ・ 感染対策上の問題
- ・ 年間計画の実施状況

## 議事録

- ・ 日時
- ・ 出席者
- ・ 話合った内容
- ・ 決まったこと（決議）



# 事業継続計画 (BCP: Business Continuity Planning)

## もう作成されましたか？

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

ホーム

テーマ別に探す 報道・広報 政策について 厚生労働省について 統計情報・白書

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 介護・高齢者福祉 > 介護施設・事業所における業務継続計画 (BCP) 作成支援に関する研修

### 介護施設・事業所における業務継続計画 (BCP) 作成支援に関する研修

感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要で、介護施設・事業所における業務継続計画 (BCP) の作成を支援するために、研修を開催しました。資料と作成手順の研修動画 (令和3年度) を掲載しましたので是非ご覧ください。

総論等もご視聴いただきますとより理解を深めることができますので併せてご活用ください。

#### ガイドライン資料と研修動画の構成

介護施設・事業所における業務継続ガイドライン等について、こちらからダウンロードしてください。

<新型コロナウイルス感染症編>

- ・新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン
- ・様式ツール集
- ・感染症ひな形 (入所系) ・感染症ひな形 (通所系) ・感染症ひな形 (訪問系)

【例示入り】<R3年度>

- ・感染症ひな形 (入所系) ・感染症ひな形 (通所系) ・感染症ひな形 (訪問系)

### 業務継続計画 (BCP)

#### 新型コロナウイルス感染症編

(介護サービス類型：入所系)

法人名 : 社会福祉法人 ●●会

施設・事業所名 : 特別養護老人ホーム ●●の里

代表者名 : ●● ●●

管理者名 : ●● ●●

所在地 :  
電話番号 :

作成日 : 2021年11月11日  
改訂日 :

BCP作成にあたっての注意事項

※本ひな形における各項目は、「介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」の構成に対応しています。

※本ひな形は各施設・事業所のサービス類型、特徴等に応じ、適宜改変して活用いただくことを想定しています。文字の色の意味は、下記のとおりです。

■青字の部分は、BCP作成の手順です。手順に応じて修正・追加・削除してください。

■赤字の部分は、施設名等の固有のもので、修正してください。

■シートが赤は、サンプルが記入済みですので、見直し修正してください。

■シートが緑は、記録の様式ですので印刷して活用してください。

### 業務継続計画 (BCP)

#### 自然災害編

(介護サービス類型：共通)

法人名 : 社会福祉法人 ●●会

施設・事業所名 : 特別養護老人ホーム ●●の里

代表者名 : ●● ●●

管理者名 : ●● ●●

所在地 :  
電話番号 :

作成日 : 2021年11月11日  
改訂日 :

BCP作成にあたっての注意事項

※本ひな形における各項目は、「介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」の構成に対応しています。

※本ひな形は各施設・事業所のサービス類型、特徴等に応じ、適宜改変して活用いただくことを想定しています。文字の色の意味は、下記のとおりです。

■青字の部分は、BCP作成の手順です。手順に応じて修正・追加・削除してください。

■赤字の部分は、施設名等の固有のもので、修正してください。

■シートが赤は、サンプルが記入済みですので、見直し修正してください。

■シートが緑は、記録の様式ですので印刷して活用してください。





# 事業継続計画 (BCP: Business Continuity Planning)

## もう作成されましたか？

### 業務継続計画 (BCP) 新型コロナウイルス感染症編 (介護サービス類型：入所系)

業務継続計画 (BCP)	
新型コロナウイルス感染症編	
(介護サービス類型：入所系)	
法人名	: 社会福祉法人 ●●会
施設・事業所名	: 特別養護老人ホーム ●●の里
代表者名	: ●● ●●
管理者名	: ●● ●●
所在地	:
電話番号	:
作成日	: 2021年11月11日
改訂日	:

BCP作成にあたっての注意事項  
※本ひな形における各項目は、「介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」の構成に対応しています。  
※本ひな形は各施設・事業所のサービス類型、特徴等に応じ、適宜変更して活用いただくことを想定しています。文字の色の意味は、下記のとおりです。  
■字の部分は、BCPの内容を確認し、必要に応じて修正・追加・削除してください。  
■字の部分は、BCP作成の手順です。手順に従い補足・様式資料を作成してください。  
■字の部分は、施設名等の固有のもので、修正してください。  
※本ひな形のExcelのシートの意味は、下記のとおりです。  
シートが赤は、サンプルが記入済みですので、見直し修正してください。  
シートが緑は、記録の様式ですので印刷して活用してください。



# BCPのひな形の活用

## 1. 総則

施設内で方針を決定する。

### 1.1 目的

本計画は、新型コロナウイルス感染症の感染者(感染疑いを含む)が施設内で発生した場合においても、サービス提供を継続するために当施設の実施すべき事項を定めるとともに、定めた実施事項を平時から円滑に実行できるよう準備すべき事項を定める。

### 1.2 基本方針

本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

- ①入所者の安全確保:  
入所者は重症化リスクが高く、集団感染が発生した場合、深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して感染拡大防止に努める。
- ②サービスの継続:  
入所者の生命、身体の安全、健康を守るために最低限必要となる機能を維持する。
- ③職員の安全確保:  
職員の生命を守り、生活を維持しつつ、感染拡大防止に努める。

### 1.3 主管部門

本計画の主管部門は、**感染症対策委員会**とする。

1. 総則

赤字は施設の実情に合わせて修正する



# BCPのひな形の活用

## 1. 総則

施設内で方針を決定する。

### 1.1 目的

本計画は、新型コロナウイルス感染症の感染  
いても、サービス提供を継続するために当施設  
事項を平時から円滑に実行できるよう準備すべ

### 1.2 基本方針

本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

- ①入所者の安全確保:  
入所者は重症化リスクが高く、集団感染が発生した場合、深刻な被害が生じるおそれがあること  
に留意して感染拡大防止に努める。
- ②サービスの継続:  
入所者の生命、身体の安全、健康を守るために最低限必要となる機能を維持する。
- ③職員の安全確保:  
職員の生命を守り、生活を維持しつつ、感染拡大防止に努める。

### 1.3 主管部門

本計画の主管部門は、**感染症対策委員会**とする。

### 1.4 全体像

ガイドライン10ページの「新型コロナウイルス感染(疑い)者発生時の対応フローチャート」に沿って  
新型コロナウイルス感染症BCPを作成する。

事前準備(平時対応)と感染疑い者が発生してからの対応(感染疑い者の発生～感染拡大防止  
体制の確立)の流れを踏まえて、作成していく。

【補足1】

【補足1】対応フローチャートを参照する。

青字は添付の補足・資  
料があるので、それを  
修正する

赤字は施設の実情に合  
わせて修正する



# 手順・マニュアル

## 必要性

- 職員が実践する感染対策の水準を示す

## 運用

- 毎年、委員会メンバーで見直して実情に合っているか確認する
- 随時、修正・改訂をする



# 手順・マニュアル

## <記載内容の例>



P 4 8

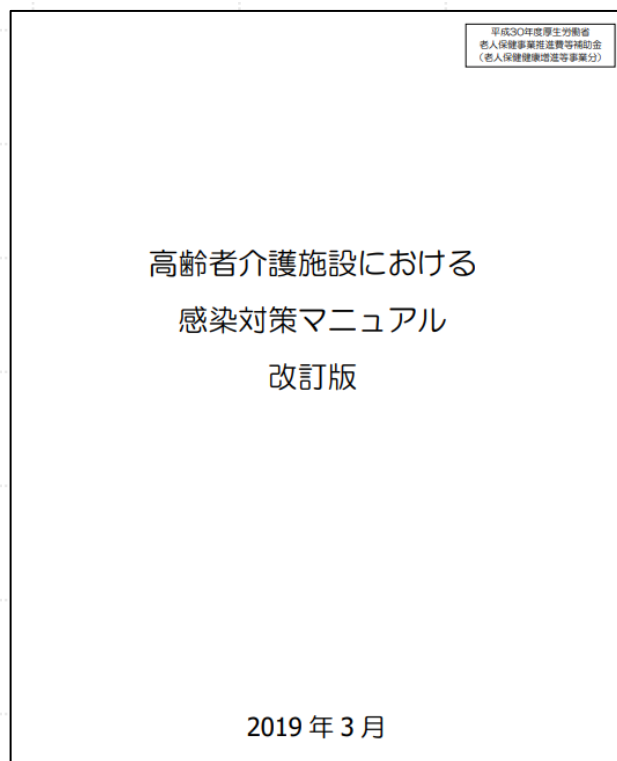
感染管理体制 (57 ページ～参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染管理に対する基本理念</li> <li>● 感染対策委員会の設置</li> <li>● 感染対策のための指針・マニュアルの整備</li> <li>● 職員研修の実施</li> <li>● 訓練（シミュレーション）の実施</li> <li>● 職員の健康管理等</li> </ul>	
日頃の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・事業所内の衛生管理 (52 ページ参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境の整備</li> <li>・ 施設・事業所内の清掃</li> <li>・ 嘔吐物、排泄物の処理方法</li> <li>・ 血液などの体液の処理方法</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者の健康管理 (35 ページ参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康状態の観察と対応の記録</li> <li>・ 感染症を疑うべき症状と注意点</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護・看護ケアと感染対策 (30 ページ参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手洗い</li> <li>・ ケアにおける標準予防策</li> <li>・ 食事介助</li> <li>・ 排泄介助（おむつ交換等）</li> <li>・ 医療処置</li> </ul>
感染症発生時の対応 (67 ページ～参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症の発生状況の把握</li> <li>● 感染拡大の防止</li> <li>● 行政等への報告</li> <li>● 関係機関との連携等</li> </ul>	

※上記に加え、第Ⅱ章を参考に新型コロナウイルス感染症への対策についても準備しておくことが望ましいです。

(出典：株式会社三菱総合研究所「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版(2019年3月)」一部改変)



# マニュアルの見本



厚生労働省の  
ホームページに掲載

<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf>

# 研修と訓練

研修

訓練

計画

# 研修

- ◆講義・演習
- ◆対面・オンライン
- ◆オンデマンド  
eラーニング

# 訓練

- ◆実地訓練
- ◆机上訓練



何が大事か？





**計画が大事！**

**感染対策委員会  
による計画立案**

**4月に年間  
計画を立案**

**準備、周知、  
実施、評価**



## 目標

研修参加率100%

おむつ交換後の手袋交換と手指消毒の実施

胃腸炎の感染が前年度より減る

# 年間計画の例

	感染対策委員会	イベント	備考
4月	12日 目標と年間計画	新入職者の研修	
5月			コロナワクチン
6月		災害・感染の訓練	消防訓練
7月	12日 訓練の評価		
8月			
9月			
10月	12日 指針・手順改訂		
11月		職員研修（胃腸炎）	インフル予防接種
12月			コロナワクチン
1月	12日 研修評価		
2月			
3月	12日 目標と計画の評価		

# 対策の実践

実践環境を整える

実践の観察

記録と評価



# 実践環境を整える

物品等の整備	手指衛生	液体せっけん、アルコール含有手指消毒剤、ペーパータオル、ごみ箱
	清掃	環境消毒クロス、乾式モップ、湿式モップ、掃除用手袋等
	血液体液から身を守る	サージカルマスク、手袋、ゴーグル、エプロン、ガウン (全て使い捨て)
人的環境	ワクチン	職員・利用者のワクチン接種機会の提供や接種確認
	健康管理	職員・利用者の定期健康診断、毎日の健康確認
教育	研修 手順書	正しい手順の周知 手順書は更新され、周知される



# 実践の観察

## □ 手順が遵守されているか観察する

- ✓ おむつ交換を一人終わるごとに、手指衛生できているか
- ✓ サージカルマスクを着用できているか
- ✓ 食事介助前に手洗いができているか
- ✓ マスクが着用できない人のケアの時に、ゴーグルが着用できているか
- ✓ 体調不良の場合に休めているか

1. 委員会メンバーによる施設内巡視の実施
2. 遵守できた→褒める！、未実施→原因探索
3. 改善策の立案・実施



# 評価と記録

1. 委員会メンバーによる施設内巡視の実施
2. 遵守できた→褒める！、未実施→原因探索
3. 改善策の立案・実施



1. 遵守状況を記録
2. 委員会で実践を評価
3. 改善計画を立案

# 協力





# 日常的に連携関係をもつ

感染症発生時の受診

受診のタイミングの相談

嘱託医や協力医療  
機関の医師

困りごとを相談

施設訪問を受け助言

専門家

感染症の早めの報告

運営指導時の相談

保健所  
行政

事業所  
施設







# 施設における感染対策

感染対策の項目	“効果的かつ負担の少ない”医療・介護場面における感染対策 に向けた変更の方向性
・基本的感染対策	・接触・飛沫・エアロゾル感染対策＋空間の分離が基本。 接触感染対策は最小限かつ効果的に
・接触感染対策	・過剰な環境消毒の中止 (頻回の環境消毒、抗菌コート、エレベーターのボタンカバーなど)
・PPEの使用	・直接接触のリスクが少ない場合(問診、診察、検温など)にはガウンは不要 (移乗介助、身体リハ、むせこみ食事介助、おむつ交換などの場合はガウン着用を考慮)
・陽性者の管理場所	・陽性者同士の大部屋管理も可。コロナ専用病棟ではない通常の病棟でも、個室あるいはコホーティング (陽性者同士の大部屋)で対応可(患者間距離、換気、物理的遮断に配慮)
・ゾーン設置による対応	・インフルエンザ流行時と同様、部屋単位で部屋内(患者ゾーン:レッド)、ドアの周囲(中間ゾーン:イエロー)など として対応(病棟全体のゾーニングは基本的には不要)(図1参照)
・面会希望への対応	・高齢者施設: マスク着用、短時間・少人数、一定の距離をとって面会可 ・医療機関: 個々の患者の状況等を考慮して面会を受け入れ (例えば新生児・小児、出産立ち会い、看取りなど、家族や関係者の面会の必要性・重要性が高い場面から受け入れ) ・面会時の基本的な感染対策(体調確認・マスク・手指消毒等)に加えて、面会場所の工夫(換気・距離・大部屋は避ける) や人数・時間制限などにより院内感染のリスクを低減
・外来患者への対応	・インフルエンザ流行時に準じた対応 (空間的/時間的隔離、換気、マスク、優先診察などによる対応)

## “効果的かつ負担の少ない”医療・介護場面における感染対策

### 第87回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料



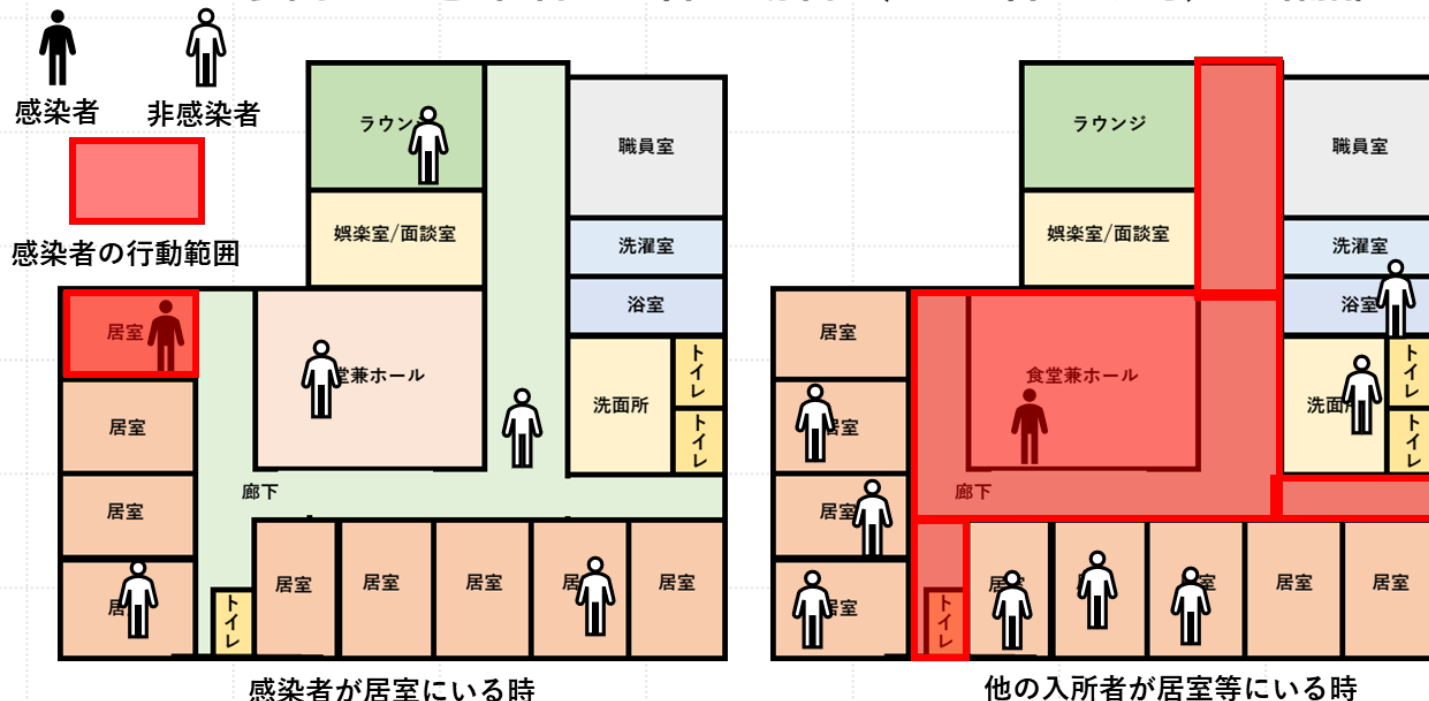
# 効果的かつ負担の少ない感染対策

対象の感染対策	具体策
飛沫とエアロゾル感染対策	業務中はマスクを着用する 換気する
接触感染対策は最小限 過剰な環境消毒の中止	【過剰な環境消毒の一例】 頻回の環境消毒、抗菌コート、 エレベーターのボタンカバー、 常時手袋着用など
ガウン（エプロン）の 着用は限定する	唾液や尿、便による衣服の汚染 が考えられる場合に着用する
面会者の対応	マスク着用、短時間・少人数、 一定の距離をとって面会可など



# 感染発生時の隔離

## 事例1 感染者が1名の場合（2・3名でも可）の隔離



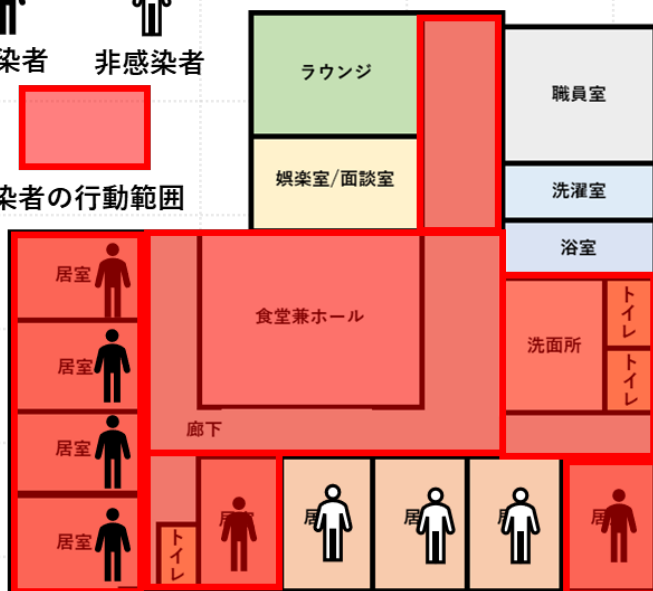
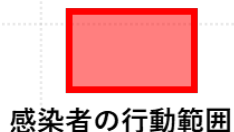
### 感染者が1名の場合

- ・ 非感染の入所者が居室にいる時間に廊下やホールを開放（解放する範囲を区切ってもよい）
- ・ 感染者は職員が見守りをする
- ・ 共有スペースは体液等で汚染がなければ掃除は不要（通常の清掃のみでよい）
- ・ 非感染の入所者はトイレや入浴などは可能。感染者との近距離の接触を避けるよう職員が誘導する

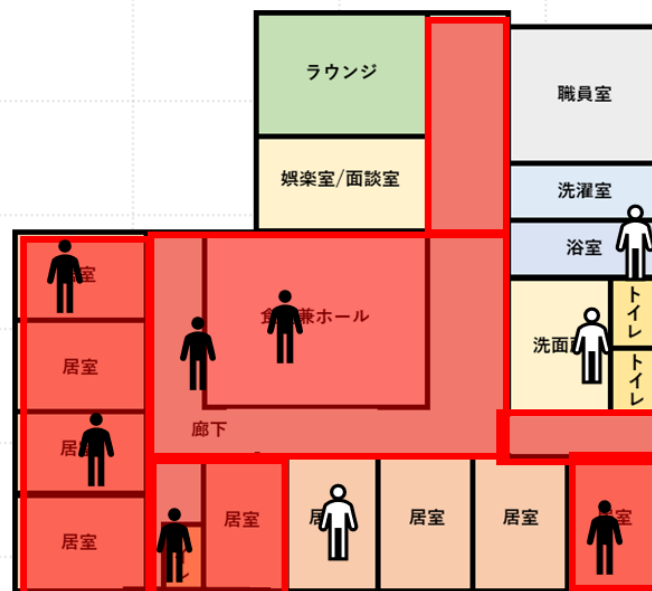


# 感染発生時の隔離

## 事例2 感染者が多数の場合の隔離



感染者が多数いる場合の隔離



感染者が居室にいる時に共有スペースを開放

### 感染者が多数の場合

- 感染者多数の場合は、共有スペースは感染者が常時使用できる状態にする
- 非感染の入所者はトイレや入浴などは可能。感染者との近距離の接触を避けるよう職員が誘導する
- 非感染者の入所者が動ける場所の確保。感染者が居室にいる時間を作り、共有スペースを使用する。外に散歩に行く
- 職員は共有スペースを見守る
- 共有スペースは体液等で汚染がなければ掃除は不要（通常の清掃のみでよい）

# 感染発生時の個人防護具（PPE）



目はゴーグルで覆う

鼻口はサージカルマスクまたは  
N95マスクを着用

手は素手でOK  
後で手指消毒か手洗いをする



# 皆様の

## 利用者の生活の質と

## 職員の仕事と

## 感染対策を

## 両立する方法を考える

# 機会になりましたでしょうか？